



平成30年11月9日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 永田 良一
(コード番号：2395 東証一部)
問 合 せ 先 常務取締役CFO 二反田 真二
(TEL:03-5565-6216)

業績予想と実績の差異に関するお知らせ並びに営業外収益、営業外費用及び特別損失の計上について

平成30年5月15日に公表しております平成31年3月期第2四半期累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、平成31年3月期第2四半期累計期間において下記の通り営業外収益、営業外費用及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期第2四半期累計期間 業績予想と実績との差異について

(1) 連結業績予想数値との差異（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	7,572	△765	△932	△1,285	△30.86
実 績 値 (B)	8,880	△137	885	912	21.91
増 減 額 (B-A)	+1,308	+627	+1,817	+2,197	
増 減 率 (%)	+17.3	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (平成30年3月期第2四半期)	7,552	△779	△640	△1,650	△39.63

(2) 差異が生じた理由

- 売上高は、平成30年8月15日付「米国事業の再編に関するお知らせ」にて開示しました子会社の譲渡に伴い、平成31年3月期第2四半期累計期間において、米国前臨床事業の平成30年1月から平成30年9月までの業績を連結したことに加えて、国内前臨床事業が増収となったことを主因に前回予想を上回りました。
- 営業利益は、前臨床事業での堅調な受注状況を背景に、稼働率は想定した操業を上回り利益率が改善した結果、前臨床事業において前回予想を572百万円上回ったことが主な要因となっております。
- 経常利益は、下記2の円安の進行による為替差益の計上及び3の支払手数料の計上により、上記の通り差異が生じました。

2. 営業外収益（為替差益）の計上について

平成31年3月期第2四半期累計期間において、昨今の為替相場の変動により、営業外収益に為替差益1,174百万円を計上いたしました。これは、主に平成31年3月期第2四半期末時点における外貨建資産・負債を同日の為替相場で評価したことにより生じたものです。

また、通期の為替差損益の額につきましては今後の為替相場の動きにより変動いたします。

3. 営業外費用（支払手数料）の計上について

平成31年3月期第2四半期累計期間において、資金調達にかかる諸手数料等として148百万円を計上いたしました。

4. 特別損失の計上について

平成31年3月期第2四半期累計期間において、当社の連結子会社であった「Altasciences Preclinical Seattle Inc.」の株式を譲渡したことに伴い、特別損失として関係会社株式売却損231百万円を計上いたしました。

なお、上記による業績への影響等につきましては、本日公表の「平成31年3月期第2四半期決算短信〔日本基準] (連結)」をご参照ください。

以 上